

1. 小論文試験とは？

→受験生一人ひとりの学問・職業適性と意欲・熱意をみるための試験である（文章の書き方や作文能力を見るものではない）。

2. 出題形式の確認

◎テーマ・自説論述型

〔出題テーマ〕

- ・21年度・1日目 「日常生活における省資源化が可能な行動」について
- ・21年度・2日目 「環境上の要求に対応して、変化する産業や製品」について
- ・22年度・1日目 「ビジネスにおけるコミュニケーション能力」について
- ・22年度・2日目 「大学に通う意義」について
- ・23年度・1日目 「人口推移の変化」について

→現代社会が直面している問題や学問・研究に取り組む意識・貢献意欲といった、受験生自身の知識・姿勢が明確に問われるテーマである。

〔出題形式〕

- ・やや短めの設問文（日本語）とグラフ・表で、いくつかの現代社会の状況や取り組みなどが提示されたうえで、設問が課されている。
- ・テーマについて「あなたの考え」をまとめて論じなさいという設問要求であり、いわゆる、「自説論述」タイプである。
- ・600字～800字の解答記述量があり、ある程度まとまった分量を記述する必要がある。

3. 学部系統での頻出テーマとは？

①学部系統別

- ・格差社会 ・働き方改革 ・社会保障 ・少子高齢社会 ・日本の産業力
- ・SDGs ・食品ロス ・イノベティブな解決策（イノベーション）
- ・行動経済学 ・日本の産業力 ・AI（人工知能） ・地方創生 ・ICT
- ・サブスクリプション（サブスク） ・エネルギー問題 ・VR/AR技術
- ・環境問題 ・循環型経済（サーキュラー・エコノミー） ・気候変動 など

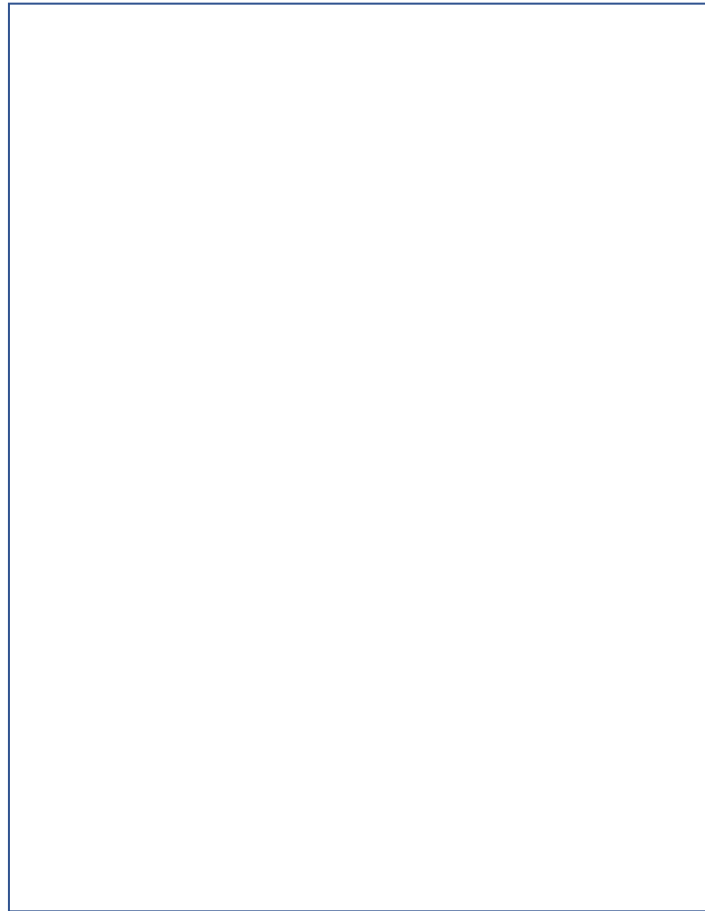
②時事問題

- ・人口減少の問題とその解決策 ・海洋プラスチックゴミ ・世界経済
- ・パンデミック（と経済的活動） ・ワークライフバランス ・生成AI など

4. どのようなことを書くのか？

- ・ 資料文の要約
- ・ 論点・論拠・例証（理由）
- ・ 適切な結論の明示

5. 解答作成の手順は？



6. これから入試までにやるべき具体的な対策・準備は？

7. まとめ